

平成 28 年 12 月 6 日 OPM ラボラトリーニュースリリース

『金属 3D プリンタ用レーザ条件導出ソフトウェア開発に成功』

株式会社 OPM ラボラトリー（京都市）は、この度『金属粉末材料の金属 3D プリンタ用のレーザ条件導出支援ソフトウェアの開発』に成功を致しました。

金属 3D プリンタ装置メーカーは各種金属粉末材料を自社装置へラインアップをするため、多くの実験を繰返し、長い期間をかけて最適なレーザ条件を導出している実態があります。当社は、長年蓄積した各種金属粉末材料別の実験結果をもとに関連性やデータベースを整理しメカニズムを解明しアルゴリズム及び公式を導き出しました。

対象金属粉末化学成分及び粒度分布等の情報を入力すれば、

- ・推奨エネルギー量(e)
- ・推奨パワー値(w)
- ・推奨レーザ速度値(mm/sec)
- ・推奨スキャンラインピッチ(mm)

の推奨値が自動的に算出され、この結果をもとにテストを開始することにより

従来の開発期間と比較して、1/3 以下に工数が削減されます。

この開発成功により当社は金属 3D プリンタ事業においてさらに優位な展開が可能になると考えます。

尚、本ソフトウェアの対外販売は予定がなく、ソディック社製金属 3D プリンタ OPM シリーズ（250L/350L）へ適用予定の金属粉末材料に活用しスピーディにラインアップしていく予定です。

以上